

社会科学学習指導案

令和元年10月10日（木曜日） 第5校時 1年1組（1年1組教室）

1 単元（題材）名 世界の諸地域 アフリカ州

2 考察

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

本単元は、中学校学習指導要領地理分野の内容（1）「世界の様々な地域」の中項目ウ「世界の諸地域」の小項目（ウ）「アフリカ州」を受け設定したものである。アフリカ州の自然や歴史と文化、産業の特色について、様々な資料を用いて考察し、基本的な知識を習得し、アフリカの地域的特色を追究することを主なねらいとしている。

ねらいを達成するために「どうしてアフリカ州は貧困から抜け出せないのか」という問いを設定し、アフリカ州の過酷な自然環境やアフリカ諸国の主要生産品、主要国の経済状況と貿易の様子、主要生産品とアフリカに暮らす人々の生活との関連、旧宗主国など先進国との結び付きなどを追究すると、アフリカの脆弱な経済基盤とその理由が明らかになり、アフリカの地域的特色の理解につながる。このような課題解決的な学習を通して、地域的特色を多面的・多角的に考察し、自らの言葉で表現する力を伸ばしたいと考える。

また、世界の諸地域の学習においては、地球儀、世界地図、地図帳、衛星画像などを活用し、地誌的知識や概念の定着を図るとともに、様々な資料から問いに応じて必要な情報を収集する活動を通して、社会的事象を読み取る技能を育成することも重要である。

更に、取り上げる主題（「モノカルチャー経済下の人々の生活」）や州にかかわる写真、物語、小説なども活用して、生徒の生活経験と結び付いた情報を豊かに獲得させていく指導上の工夫も大切である。

②主な伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

- ・資料から社会的事象を読み取る技能
- ・地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現する力
- ・歴史的背景を踏まえて人々の生活や産業の特色を理解する力

(2) 生徒の実態及び指導方針（男子19名 女子12名 計31名）

①既習の学習内容や活動

本単元で扱う「アフリカ州」については、歴史分野で「エジプト文明」や「ピラミッド」「ナイル川」について、地理分野では、「国境線に緯線や経線が使われている」等の内容を学んできている。それ以外では、テレビからの情報で「動物が多い」や「治安が悪い」などの断片的なイメージしかもてていない。

また、アフリカ州でみられる社会的事象は、ヨーロッパ州による植民地支配の影響が原因のものが少なくない。ヨーロッパ州の学習で、かつてアフリカ州がヨーロッパ州に植民地支配を受けていたこと、その影響で民族の分布などに関係なく、緯線や経線によって現在の国境線が引かれたことを学んでいる。

②本単元に関わる生徒の実態

本学級の生徒は、明るく活発な生徒が多い。社会科に対しては意欲的な生徒が多く、地理分野よりも歴史分野に興味を持っている生徒が多い。歴史分野では、歴史上の人物の行動などのエピソードに興味を感じている生徒が多く、意欲的に活動している様子が授業中に見てとれる。一方、地理分野においては、社会的事象を地図上の位置や空間的な広がりで見え、分析するという視点が必要になってくるが、歴史分野に比べてイメージしにくく、苦手意識を感じている生徒が多い。

また、世界の国々に対しては中国や韓国などニュースなどで取り上げられる国について、その国に暮らす人々の生活や産業の特色は、ある程度イメージできている生徒が多い。今回扱うアフリカ州については、断片的なイメージしか持っていないので、歴史的背景を踏まえ、しっかりと理解させたい。

更に、社会的事象を追究していく中で、本学級の生徒は多面的に分析することができるものの、なかなか異なる立場からの見方に気付ける生徒が少ない。産業などを扱う場合、生産者だけでなく、消費者の視点も必要になる。本単元では身近なチョコレートを扱うので、生徒の生活経験と関連付けて考察させることで表現できるようにしたい。

③指導方針

- 生徒が主体的に授業に参加できるように、具体物や映像資料などを活用する。
- 主体的に学習に取り組めるようにするため、生徒の身近な生活経験に関連するものを展開に取り入れる。
- 自己の学びを振り返られるように、振り返りシートを活用し、毎時間本時の学習を振り返る時間を設ける。
- 多面的・多角的に考察できるように、単元の課題を設定する。
- 生徒が社会的事象を多角的に分析できるよう、実際の人々の営みと社会的事象とを関連付けた展開を工夫する。
- 前单元であるヨーロッパ州での学習と関連付け、想起させることで、歴史的背景を踏まえてアフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解できるようにしたい。
- アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解しやすくするために、身近な館林の雨温図などと比較する。
- 資料活用能力を高めるために、複数の資料から自分のほしい情報を抜き出す場面を意図的に取り入れる。
- 資料に対する興味を高めるために、地図資料やグラフ資料、写真資料などの提示方法を工夫する。

3 研究（研修）とのかかわり

研究（研修）テーマ「互いを認め合い、よりよい生き方を追求する生徒」
 ～「考え、議論する道徳」の授業改善を通して～

本校の研修は道徳が主題である。今回の学習指導要領の改訂により、道徳科においても、多面的・多角的に考えを深めていくことが目標として定められた。社会科で多面的に考えると、一つの社会的事象を様々な側面（地理的、歴史的、政治的、経済的、文化的など）から捉えることであり、道徳科においても、心理面や倫理面など違った側面から道徳的価値を考えることを意味している。いずれの教科もある事象には複数の捉え方があり、違った側面からアプローチして考えることの重要性を謳っているものだと考える。社会的事象を多面的に追究していく学習過程は、本校の研修主題につながると考え、今回の学習活動を設定した。

4 単元（題材）の目標

長い間、他国の支配を受けてきたアフリカ州の特色を、人々の生活の変化と自立への課題に注目して様々な資料から追究し、多面的・多角的に考察した結果を基に説明することができる。

5 評価規準及び指導の計画概要

評価規準	関心・意欲・態度	○モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカの地域的特色への関心を高めようとしている。					
	思考・判断・表現	○一つの国が特定の農産物や鉱産資源に頼るようになった原因を考察し、そのような貿易形態の問題点を自分の言葉で適切に説明している。					
	技能	○資料から、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを的確に読み取っている。					
	知識・理解	○歴史的背景を踏まえてアフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解している。					
学習過程	時	○ねらい ・学習活動	指導上の留意点	評価の観点			
				関	思	技	知
つかむ	1	○アフリカ州の地形や気候の特色を理解する。 ・地図帳を活用し、アフリカ州の気候の特色を確認する。	・アフリカ州のどこに赤道が通っているかを確認し、南北で対称な気候になっていることに気付かせる。	○			○
【単元の課題】 どうしてアフリカ州は貧困から抜け出せないのか。							

		<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州の特徴的な雨温図と身近な館林の雨温図などと比較して考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州の気候を捉えさせることで、人々の生活や産業の特色を理解しやすくする。 				
	2	○資料を活用して、ヨーロッパとのつながりの歴史や今もなお関係が深いことを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・国境線と民族の分布図を比較し国境線が民族の分布を無視して引かれたことが紛争の原因となっていることに気付かせる。 				○
追究する	3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○アフリカ州の産業の特色と課題について考え、自分の言葉でまとめる。 ・複数の資料から、アフリカ州の産業の抱える問題点について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の農産物や鉱産資源に依存することの問題点について考えさせる。 				○
まとめる	4	<ul style="list-style-type: none"> ○アフリカ州が貧困から抜け出すために、どんな取り組みが行われているかを理解する。 ・アフリカの国々が貧困から抜け出せるよう、先進国が行っている取り組みを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食料不足などを解決するために作物の栽培などの支援を、先進国が行っていることに気付かせる。 				○ ○

6 NRTとの関連

NRTの結果では、4観点のうち、技能の観点が低いという傾向が見られた。特に複数ある資料を用いて異なる情報が書かれた資料を比較検討し、そこから社会的事象を読み取るということに苦手意識を抱いている生徒が多い傾向であることが分かった。

そこで、本単元では資料から社会的事象を読み取る活動を意識的に取り入れた。

7 本時の学習（3／4）

(1) ねらい アフリカ州の産業の特色と課題を考え、アフリカ州が貧困から抜け出せない理由を自分の言葉でまとめることができる。

【本時の視点】 アフリカ州の課題を追究する際に、「単元の課題」を立てたことは、深い学びを実現するのに有効であったか。

(2) 人権教育の視点 身近な商品がアフリカ州の人々の犠牲の上に生産されていることを、歴史的背景を踏まえて理解させる。

(3) 準備 教科書 地図帳 資料集

(4) 展開

学習活動 (○) 予想される児童生徒の反応 (・)	時間	指導形態	指導上の留意点及び支援・評価 (・) ◎努力を要する児童生徒への支援 ○力を高めたい児童生徒への支援 ◇評価
1 本時のめあてをつかむ。 ○単元の課題「どうしてアフリカ州は貧困から抜け出せないのか。」から前時までの学習を振り返る。 ○「ガーナチョコレート」からチョコレートとガーナの関連について考える。 ・ガーナでチョコが作られている。 ・ガーナでチョコの原料が作られている。	5分	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを活用して、自己の学びを振り返られるようにする。 ・ガーナチョコレートの実物を用意し、本時の課題に対する興味関心を喚起する。

【めあて】アフリカ州の産業にはどんな特色や課題があるのか。

<p>2 一人一人が解決に必要な情報を集め、読み取る。</p> <p>○資料を用いアフリカ州の主な農産物の分布の特徴を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カカオ豆はギニア湾沿岸に多い。 ・サハラ砂漠周辺では遊牧が行われている。 ・アフリカ南部は地中海式農業。 <p>○アフリカ州と日本の輸出品目を比較し、アフリカ州の産業の特色と課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州は1位の品目の割合が多い。 ・アフリカ州は原料の輸出が多い。 	<p>25分</p>	<p>個人</p> <p>個人</p> <p>グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州をサハラ砂漠や南部、ギニア湾沿岸などと地域分けして考えさせることで、分布を捉えやすくする。 ・アフリカ州と日本の輸出品目のグラフを比較し、アフリカ州は特定の品目、一次製品の生産が多いことに気付かせる。 ◎机間巡視をして、資料の読み取り方が分からない生徒には、資料の見方について指導を行う。 ・資料集や教科書を資料として、該当するページを指示し、そこから必要な情報を読み取れるようにする。 ◎資料の読み取りに苦労している生徒には、前時までに学習したアフリカ州の自然や歴史を踏まえて、多角的に考察するよう伝える。 ・ガーナの位置や気候条件、宗主国との関係に関連付けて捉えられるように助言する。 ○自分が調べて分かったことを、班の人に説明するよう伝える。班全員が理解できるように課題を与える。 ・貿易総額に着目させ、一次産品に頼ってばかりいるため、輸出額の規模が小さいことに気付かせる。
<p>3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。</p> <p>○班で話し合った内容を全体で共有する。</p> <p>○モノカルチャー経済の問題点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入が安定しない。 ・日本と比べると貿易額が少ない。 	<p>15分</p>	<p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合った内容を発表させる。その内容を教師が問い返したりすることで、考えを深められるように工夫する。 ・「チョコレートの消費量」と「カカオ豆の生産量ランキング」の表の比較から、アフリカ州で輸出される農作物は、商品作物が多いことに気付かせる。 ・価格変動のグラフを提示し、特定の産業に依存することのリスクについて考えさせる。 ・フェアトレードの取り組みについて紹介し、身近なものがアフリカ州の犠牲の上に届けられていることに気付かせたい。
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【あらわれてほしい生徒の意識】</p> <p>アフリカ州には、特定の原料の生産に依存するモノカルチャー経済の国が多く、価格変動の影響を受けやすい。</p> </div>	<p>5分</p>	<p>個人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを意識した学習の振り返りをさせるために、下記の視点等を示す。 <p>【モノカルチャー経済 原料 価格変動】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇アフリカ州の産業の特色と課題について、自分の言葉で適切にまとめている。 (振り返りシートの記述)</p> </div>

8 板書計画

【単元の課題】 どうしてアフリカ州は貧困から抜け出せないのか。

【めあて】 アフリカ州の産業にはどんな特色や課題があるのか。

○アフリカ州の農業

- ・サハラ砂漠周辺：遊牧……
- ・南部：地中海式農業……
- ・ギニア湾沿岸：カカオ豆……

○アフリカ州の輸出品の特徴

- ・特定の品目の割合が多い
 - ・原材料が多い
- モノカルチャー経済

○アフリカ州の産業の課題

- ・価格の影響を受けやすい
- ・貿易額が少ない

【振り返り】

アフリカ州の産業には、特定の原料の生産に依存するモノカルチャー経済下の国が多いという特色があり、価格変動の影響を受けやすいことが課題である。